

## 令和3年度（瀬谷）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行の防止）	職員一人ひとりの「職務への誇りと責任」の自覚を促し、公務外非行（わいせつ事案等）の根絶につなげる。	県制作の動画研修には職員が真摯に取り組んだ。また必要に応じ、あらゆる機会を用いて服務規律やルールについて周知徹底し、個人への働きかけも頻回に行うようにした。その結果目標を達成することができた。「不祥事を起こさない集団を職員が主体的に作ること」を目指した働きかけを続けていきたい。
職場のハラスメントの防止	互いに声を掛け合い、職員間の協働意識を高め、人権感覚と規範意識を向上させる。	業務の進行について互いに共有し、声を掛け合える雰囲気づくりや、進行に支障をきたしている場面をもれなく捉え、対処することがよりいっそう必要である。業務分担の把握や進行管理をより丁寧に行い、声を掛け合う組織としていきたい。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりが生徒の人権を尊重するという意識を持って取り組み、生徒へのわいせつ・セクハラ事案を根絶する。	情報共有や研修、面談を重ねた結果、「生徒に対するわいせつ、セクハラ行為を防ぐ」という意識が高まり、目標達成することができた。生徒一人ひとりの状況を踏まえ、より細やかな心遣いをもって生徒に接することを心がけたい。
体罰・不適切指導の防止	職員一人ひとりが日頃より指導の目的を意識し、支援的視点を持ち、適切な方法で落ち着いた生徒に向き合えるよう取り組み、体罰・不適切指導を根絶する。	個々の生徒に対する体罰や不適切指導は見られなくなり、目標はおおむね達成できた。一方で、強い口調の指導に不安を感じる生徒もいることを踏まえ、集団の指導において個々の生徒の状況把握を丁寧に行うことを心がけるなど、より支援的なスタンスを持った指導を展開していきたい。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	職員一人ひとりが重要情報の作成及び取扱いに関わることを自覚し、ルール周知や環境整備を進め事故の根絶に努める。	わかりやすいマニュアル作成を心がけ、変更点や注意点を確実に共有し、業務を進めた。また一つ一つの業務や点検を、時間をかけて確実にを行い、ミスを未然に防ぐことができた。今年度の取り組みを踏まえ、学校全体としての業務遂行体制を固めていきたい。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	生徒の個人情報の適切な管理・取り扱いを徹底し情報の紛失や漏洩を防止する。	個人情報の適切な管理を職員が心がけ、ルールに則り実施することができた。年度が変わることによる情報の引継ぎや削除などを適切に行うよう、呼びかけを強化したい。
業務執行体制の確保等	情報共有を確実にを行い、業務協力体制の確立に努める。	わかりやすく共有しやすい情報発信に努めた。掲示板システムを活用し、さらなる情報の共有化を進めていきたい。

○ 令和3年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和4年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

不祥事防止意識が高まり、点検が丁寧に行われるようになった結果、複数の項目で目標達成に至った。複数で業務に当たることを心がけ、職員の協働性を高め、互いに声を掛け合える雰囲気を作り、同僚性の醸成による不祥事防止に努めていきたい。